

<概要>

平成8年度（1996年度）におけるわが国（日本）の原子力発電所の時間稼働率及び設備利用率は、営業運転中の全原子力発電所（50基）平均で、それぞれ80.8%、81.4%と高い水準を示した。

<更新年月>

1999年03月（本データは原則として更新対象外とします。）

<本文>

平成8年度（1996年度）のわが国（日本）の原子力発電所の設備利用率は、営業運転中の全原子力発電所（50基、総発電設備容量42,547万kW）平均で80.8%、また、時間稼働率は平均で81.4%であった。わが国の電気事業用の原子力発電所は、1966年に日本原子力発電・東海原子力発電所（GCR）が初めて営業運転を開始し、1975年前後に初期トラブルや応力腐食割れ（SCC）等によって設備利用率は40～50%で低迷したが、その後、設備の改善などを実施し、1983年度に時間稼働率及び設備利用率ともに70%を超えて以来、10年以上にわたり70%台の高い比率を維持してきた。そして、1995年には80%を超えた。平成8年度（1996年度）に新たに営業運転を開始したプラントは、東京電力・柏崎刈羽原子力発電所6号機（ABWR 135.6万kW、1996年11月7日運転開始）の1基である。

1996年度のわが国の原子力発電所の設備利用率及び時間稼働率を表1-1、表1-2に示す。また、炉型別の設備利用率及び時間稼働率を表2に示す。

なお、設備利用率及び時間稼働率の定義はつぎのとおり：

(1) 設備利用率＝発電電力量/（認可出力×暦時間）×100（%）

(2) 時間稼働率

・ユニットの時間稼働率

時間稼働率＝発電時間/暦時間×100（%）

・発電所別、電力会社別、合計の時間稼働率（出力按分をした平均時間稼働率）

平均時間稼働率＝（認可出力×発電時間）の合計/（認可出力×暦時間）の合計×100（%）

<関連タイトル>

日本の原子力発電所の時間稼働率の推移（2004年度まで）(02-05-02-01)

日本の原子力発電所の設備利用率の推移（2004年度まで）(02-05-02-02)

平成8年度わが国の原子力発電所の時間稼働率及び設備利用率 (12-01-01-18)

<参考文献>

(1) 通商産業省資源エネルギー庁公益事業部原子力発電安全管理課（編）：原子力発電所運転管理年報 平成9年版（平成8年度実績）、p.48-59、火力原子力発電技術協会（1997年9月）

(2) 日本原子力産業会議（編）：世界の原子力発電開発の動向 1997年次報告、p.80-81（1998年5月）

表1－1 1996年度わが国原子力発電所の
設備利用率と時間稼働率(1/2)

(単位:%)

設 置 者	ユニット	許可出力 (MW)	設備利用率	時間稼働率
B W R				
日本原子力発電	東海第二	1,100	81.1	81.6
	敦賀1号	357	70.6	71.3
東北電力	女川1号	524	97.5	97.7
	〃 2号	825	76.5	77.0
東京電力	福島第一1号	460	45.1	45.8
	〃 2号	784	88.4	88.5
	〃 3号	784	97.2	97.8
	〃 4号	784	74.4	74.9
	〃 5号	784	96.9	97.0
	〃 6号	1,100	65.9	66.7
	福島第二1号	1,100	73.0	73.3
	〃 2号	1,100	87.7	88.0
	〃 3号	1,100	96.1	96.3
	〃 4号	1,100	73.6	74.2
	柏崎刈羽1号	1,100	91.7	91.9
	〃 2号	1,100	74.3	75.1
	〃 3号	1,100	100.0	100.0
	〃 4号	1,100	87.1	87.3
	〃 5号	1,100	85.6	85.9
	〃 6号	1,356	100.0	100.0
	〃 7号			
中部電力	浜岡1号	540	73.5	73.7
	〃 2号	840	87.2	87.6
	〃 3号	1,100	74.7	75.2
	〃 4号	1,137	100.0	100.0
北陸電力	志賀1号	540	77.9	78.7
中国電力	島根1号	460	72.7	73.0
	〃 2号	820	80.8	81.5
小 計		24,195	83.5	83.9

(注) 柏崎刈羽7号の営業運転開始は1997年7月から。

[出典] 通商産業省資源エネルギー庁公益事業部原子力発電安全管理課(編):
原子力発電所運転管理年報 平成9年版(平成8年度実績)、p45～51

**表1-2 1996年度わが国原子力発電所の
設備利用率と時間稼働率(2/2)**

(単位:%)

設 置 者	ユニット	許可出力 (MW)	設備利用率	時間稼働率
P W R				
日 本 原 子 力 発 電	敦 賀 2号	1,160	90.1	90.5
北 海 道 電 力	泊 1号	579	78.0	78.7
	〃 2号	579	81.5	82.3
関 西 電 力	美 浜 1号	340	99.9	100.0
	〃 2号	500	84.0	84.1
	〃 3号	826	56.6	57.5
	高 浜 1号	826	72.2	72.9
	〃 2号	826	84.7	85.0
	〃 3号	870	75.5	76.1
	〃 4号	870	76.6	77.2
	大 飯 1号	1,175	71.1	71.7
	〃 2号	1,175	82.5	83.1
	〃 3号	1,180	83.9	84.5
	〃 4号	1,180	47.9	48.5
四 国 電 力	伊 方 1号	566	75.9	77.0
	〃 2号	566	77.7	78.9
	〃 3号	890	95.3	96.4
九 州 電 力	玄 海 1号	559	96.0	96.6
	〃 2号	559	84.0	85.4
	〃 3号	1,180	74.8	75.8
	〃 4号			
	川 内 1号	890	69.1	70.0
	〃 2号	890	77.5	78.5
小 計		18,186	77.5	78.2
G C R				
日 本 原 子 力 発 電	東 海	166	72.3	85.1
合 計		42,547	80.8	81.4

(注) 玄海4号の営業運転開始は1997年7月から。

[出典] 通商産業省資源エネルギー庁公益事業部原子力発電安全管理課(編):
原子力発電所運転管理年報 平成9年版(平成8年度実績)、p45~51

表2 わが国の原子力発電所の炉型別の 設備利用率と時間稼働率

1996年度

炉 型	沸騰水型 (BWR)	加圧水型 (PWR)	ガス冷却型 (GCR)	総合平均
基 数	27	22	1	50
設備利用率(%)	83.5	77.5	72.3	80.8
時間稼働率(%)	83.9	78.2	85.1	81.4

[出典] 通商産業省資源エネルギー庁公益事業部原子力発電安全管理課(編):
原子力発電所運転管理年報 平成9年版(平成8年度実績)、p29